

記入例

別記様式第1号の2の3

消防用設備等（特殊消防用設備等）設置届出書				
② 令和元年 5月13日				
① 千葉市消防長 殿				
届出者 ③				
住所 千葉市中央区中央1丁目●番●号				
氏名 千葉 太郎 印				
下記のとおり、消防用設備等（特殊消防用設備等）を設置したので、消防法第17条の3の2の規定に基づき届け出ます。				
記				
設置者	住所 ④ 千葉市中央区中央1丁目●番●号 電話043(000)△△△ 氏名 千葉 太郎			
防火対象物	所在地 ⑤ 千葉市中央区中央1丁目●番●号			
	名称 千葉ビル			
	用途 ⑤ 複合用途			
構造、規模 RC 造地上 5階地下 一階 床面積 ⑥ 620.00m ² 延べ面積 ⑦ 2,600.00m ²				
消防用設備等（特殊消防用設備等）の種類 ⑧ 自動火災報知設備				
工事	種別 ⑨ 新設 、増設、移設、取替え、改造、その他()			
	設計者住所 ⑩ 千葉市中央区長洲〇-〇-〇 電話043(000)△△△			
	設計者氏名 長洲 一男			
	施工者住所 ⑪ 千葉市中央区長洲〇-△-□ 電話043(000)△△△			
	施工者氏名 (株)長洲防災 長洲 一美			
	⑫ 消防士 免状 住所 千葉市中央区長洲〇-△-□ 氏名 長洲 一美			
種類等	交付知事	交付年月日	講習受講状況	
甲・乙 種 4 類	千葉 都道府県	H20年8月26日 第00013号	受講地	受講年月
			千葉 都道府県	H28年9月
着工年月日	⑬ 平成31年2月15日			
完成年月日	⑭ 令和元年5月11日			
検査希望年月日				
※受付欄	※決裁欄		※備考	

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 2 消防用設備等設計図書又は特殊消防用設備等設計図書は、消防用設備等又は特殊消防用設備等の種類ごとにそれぞれ添付すること。
 3 ※欄には、記入しないこと。

記入要領

- ① あて先欄は、「千葉市消防長」とすること。
- ② 年月日欄は、届出書を提出する年月日を記入すること。
- ③ 届出者欄は、防火対象物の関係者の住所、氏名を記入するとともに押印すること。
- ④ 設置者欄は、消防用設備等を設置した関係者の住所、氏名を記入すること。
- ⑤ 防火対象物欄は、消防用設備等を設置した防火対象物の住所、名称(複合用途のテナント工事の場合、対象物名称及びテナント名称を併記すること)、用途、構造及び規模を記入すること。
例) 防火対象物名称(階数 テナント名)
- ⑥ 床面積の欄にあっては、建築基準法上の建築面積を記入すること。
- ⑦ 延べ面積は、建築基準法上の延べ面積を記入すること。
なお、建築基準法上床面積が不算入となるが、消防用設備等の規制上、床面積を算入し、する場合について、その両者を併記することとする。
例) 対象物の延べ面積(テナントの延べ面積)
- ⑧ 消防用設備等の種類欄は、消防用設備等について令第7条による種類を記入すること。
- ⑨ 工事の種別欄は、該当する項目を○印で囲むこと。
- ⑩ 工事の設計者住所氏名欄は、消防用設備等を設計した者の住所、氏名(法人の場合は、名称及び代表者の氏名)を記入すること。
- ⑪ 工事の施工者住所氏名欄は、消防用設備等の工事を施工した者の住所、氏名(法人の場合は、名称及び代表者の氏名)を記入すること。
- ⑫ 消防設備士欄は、工事を施工する消防設備士の住所、氏名を記入し、免状の種類、交付年月日及び交付番号、講習受講状況等を記入すること。
- ⑬ 着工年月日、完成年月日、検査希望年月日を記入すること。